

1. 目的・目標

本学では、「カトリックの愛の精神」に基づく教育理念および教育目標を実現するために、求められる教員像を踏まえた、教員の教育研究能力の向上を目的として、全学レベルでの組織的なFD (Faculty Development) 活動を推進し、教育の質保証ならびに質向上を図ることを目指しています。

2. 令和2年度 FD実施概要 (教育の質向上委員会主催分)

	日程・実施方法	実施テーマ・内容	目的・目標	実施評価
令和2年度	令和2年9月3日～5日 : ライブ配信	「 <u>教育イノベーション大会</u> 」 私立大学情報教育協会オンライン研修会受講 受講レポート提出	教育改善を目指したICT活用の発表を聴き、教育の質向上を加速するデジタル変革の可能性と課題について研修する	コロナ禍の教育における他大学の事例紹介も含んだ多岐に渡る充実した内容であった。 参加者のレポート記述内容からも、後期に向けて教育改善に活用することができる研修であったと評価する。
	令和2年9月18日～ 10月10日 : オンデマンド配信	「 <u>各科目レベルでのPDCAサイクルの構築</u> 」 授業改善に関する研修動画の視聴、授業改善計画書の作成	全学的な各授業科目レベルでのPDCA実施に向けて、試行的に科目ごとに授業改善計画を作成する	今回の研修を通して、各自の授業計画がどのように改善されたかをシラバスなどを通して注視していく必要がある。 今回、オリエンテーション動画をオンデマンドで配信したが、参加率が6割に留まり、参加率の向上が課題となった。
	令和2年10月28日～ 11月16日 : オンデマンド配信	「 <u>遠隔授業についてのFD</u> 」 学生アンケート・教職員アンケートを踏まえた前期遠隔授業の評価・報告会 研修後レポート提出	後期に向けて、前期の点検・評価を踏まえたFDを実施、特に遠隔授業における個々の授業改善を促進し、教育の質保証ならびに質向上を図る	前期授業の実践を、学生・教職員双方のアンケート結果を基に振り返り、全体で共有する機会となった。 参加率は65%。報告会を受けての各人のレポートから、課題や要改善事項が明らかとなったことから、今後に繋がる研修会であったと評価できる。 今後も継続的な研修を実施し、課題解決・改善を図り、教育の質向上へ繋げることが求められる。
	令和2年11月13日～ 令和3年2月12日 : Eラーニング	「 <u>教職員のための情報倫理とセキュリティ</u> 」 日本データパシフィック・Eラーニングの受講	教職員が知っておくべき「個人情報漏洩」「不正アクセス」「コンピューターウイルス」「著作権侵害」といった問題について学修し、問題を防止する。	多岐に渡る内容をEラーニング形式で具体的事例を交えながら学修することができた。 各項目に確認テストが設けてあることで、知識定着の一助となった。 参加率は8割であった。
	令和3年2月	「 <u>新任教員育成・教員間のピアサポート体制の把握・可視化</u> 」	教育の質向上を見据え、新任教員および教員間のピアサポートについての既存の取り組みについて資料を整備する	各種委員会や領域単位での既存の取り組みに関して情報収集を行い、新規取組と合わせ資料に纏め、可視化することができた。 学内の実践および次年度のFD計画を確認する機会となった。
	通年	「 <u>教職員の履修証明プログラム受講推進</u> 」	データヘルスサイエンスに関する教育力の養成	令和2年度は、本学教職員の受講実績はなかったが、無料で受講できる制度を整備しており、次年度も継続して実施予定である。